

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

平成30年10月5日

計画の名称	6 防災に強いまちづくり			重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)	交付対象	北九州市		
計画の目標					

災害時に円滑かつ迅速な応急活動を支える緊急輸送道路等の耐震補強や保全工事および防災に必要な道路整備等を実施し、市民がより安全で安心できる道づくりを行う。

計画の成果目標 (定量的指標)

・緊急輸送道路および鉄道・直轄国道等を跨ぐ橋梁、トンネル、大型カルバート、門型標識の道路施設について、より安全性を高めた長寿命化対策として耐震・耐荷・老朽化対策を実施し(リニューアル対策)、①災害時の緊急輸送道路ネットワーク等を確保、②長寿命化による将来の維持管理費軽減を図ることで道路ネットワークの安全性および信頼性が向上する。

定量的指標の定義及び算定式

老朽化対策が急がれる橋梁(128橋)に対する整備箇所割合
 (老朽化対策完了率) = (老朽化対策完了箇所) / (老朽化が急がれる橋梁数)
 老朽化対策のトンネル(42箇所)に対する整備箇所割合
 (老朽化対策完了率) = (老朽化対策完了箇所) / (老朽化対策の全トンネル数)
 老朽化対策の大型カルバート(17箇所)に対する整備箇所割合
 (老朽化対策完了率) = (老朽化対策完了箇所) / (老朽化対策の全大型カルバート数)
 老朽化対策の門型標識(30箇所)に対する整備箇所割合
 (老朽化対策完了率) = (老朽化対策完了箇所) / (老朽化の全門型標識数)

定量的指標の現況値及び目標値	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)	
	48%	74%	100%	
7%	21%	26%		
0%	11%	23%		
0%	40%	80%		

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	16,225百万円	A	16,225百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%
-------	-----------------	-----------	---	-----------	---	------	---	------	---	------	-----------------------------	------

交付対象事業

A4 道路事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H28	H29	H30	H31	H32				
A-1	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	修繕	(国)3号ほか4路線(中川橋ほか)	橋梁耐震補強・修繕	北九州市						220		策定済	
A-2	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	修繕	(主)有毛引野線ほか地方道路線(夕原第二路線橋ほか)	橋梁耐震補強・修繕	北九州市						690		策定済	
A-3	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	修繕	(他)金田菜園場1号線ほか市道路線(愛宕路線橋ほか)	橋梁耐震補強・修繕	北九州市						5,690		策定済	
A-4	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	修繕	(国)322号ほか2路線(新金辺隧道ほか4箇所)	トンネル修繕	北九州市						100		策定済	
A-5	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	修繕	(主)門司行橋線ほか5路線(金比羅隧道ほか19箇所)	トンネル修繕	北九州市						300		策定済	
A-6	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	修繕	(他)本城184号線ほか7路線(本城第二トンネルほか16箇所)	トンネル修繕	北九州市						250		策定済	
A-7	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	修繕	(国)322号(モノレール耐震化等対策)	耐震補強・修繕 L=4.8km	北九州市						2,100		策定済	
A-8	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	修繕	(都)5号線ほか(モノレール耐震化等対策)	耐震補強・修繕 L=4.0km	北九州市						1,750		策定済	
A-9	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	修繕	(国)322号(1箇所)	大型カルバート修繕	北九州市						50		策定済	
A-10	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	修繕	(主)長行田町線(1箇所)	大型カルバート修繕	北九州市						30		策定済	
A-11	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	修繕	(他)長野葛原1号線ほか11路線(15箇所)	大型カルバート修繕	北九州市						220		策定済	
A-12	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	修繕	(国)199号ほか4路線(13箇所)	門型標識修繕	北九州市						20		未策定	
A-13	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	修繕	(主)門司行橋線ほか地方道路線(6箇所)	門型標識修繕	北九州市						10		未策定	
A-14	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	修繕	(他)浅野31号線ほか市道路線(11箇所)	門型標識修繕	北九州市						20		未策定	
A-15	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	計画・調査	(国)199号ほか4路線(橋梁定期点検)	市内全域の橋梁定期点検・計画策定	北九州市						40		策定済	
A-16	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	計画・調査	(主)門司行橋線ほか地方道路線(橋梁定期点検)	市内全域の橋梁定期点検・計画策定	北九州市						1,210		策定済	
A-17	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	計画・調査	(国)199号ほか4路線(トンネル定期点検)	市内全域のトンネル定期点検・計画策定	北九州市						20		策定済	
A-18	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	計画・調査	(主)門司行橋線ほか地方道路線(トンネル定期点検)	市内全域のトンネル定期点検・計画策定	北九州市						130		策定済	
A-19	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	計画・調査	(国)199号ほか2路線(横断歩道橋定期点検)	市内全域の横断歩道橋定期点検・計画策定	北九州市						20		策定済	
A-20	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	計画・調査	(主)門司行橋線ほか地方道路線(横断歩道橋定期点検)	市内全域の横断歩道橋定期点検・計画策定	北九州市						80		策定済	
A-21	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	計画・調査	(国)322号(モノレール定期点検)	モノレール定期点検・計画策定	北九州市						160		策定済	
A-22	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	計画・調査	(1)徳力葛原線(モノレール定期点検)	モノレール定期点検・計画策定	北九州市						140		策定済	
A-23	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	計画・調査	(国)322号(大型カルバート定期点検)	市内全域の大型カルバート定期点検・計画策定	北九州市						30		策定済	
A-24	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	計画・調査	(主)長行田町線ほか地方道路線(大型カルバート定期点検)	市内全域の大型カルバート定期点検・計画策定	北九州市						50		策定済	
A-25	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	計画・調査	(国)199号ほか4路線(門型標識定期点検)	市内全域の門型標識定期点検・計画策定	北九州市						10		未策定	
A-26	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	計画・調査	(主)門司行橋線ほか地方道路線(門型標識定期点検)	市内全域の門型標識定期点検・計画策定	北九州市						10		未策定	
A-27	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	計画・調査	(主)門司行橋線ほか地方道路線(門型標識定期点検)	市内全域の門型標識定期点検・計画策定	北九州市						10		未策定	
A-28	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	修繕	(国)211号ほか2路線(上の原歩道橋ほか11橋)	横断歩道橋修繕	北九州市						105		策定済	P2から移行
A-29	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	修繕	(県)湯川赤坂線ほか地方道路線(霧ヶ丘横断歩道橋ほか33橋)	横断歩道橋修繕	北九州市						217		策定済	P2から移行
A-30	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	修繕	(他)上津26号線ほか4路線(川崎橋ほか4橋)	橋梁耐震補強・修繕	北九州市						293		策定済	P2から移行
A-31	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	修繕	(他)上津26号線ほか4路線(川崎橋ほか4橋)	橋梁耐震補強・修繕	北九州市						200		策定済	
A-32	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	修繕	(国)199号(砂津大橋)	橋梁耐震補強・修繕	北九州市						200		策定済	
A-33	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	修繕	(主)有毛引野線ほか1路線(中運橋ほか2橋)	橋梁耐震補強・修繕	北九州市						545		策定済	
A-34	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	修繕	(主)直方行橋線(平尾台3号橋ほか2橋)	橋梁耐震補強・修繕	北九州市						40		策定済	
A-35	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	修繕	(主)小倉中間線(瀬戸口橋)	橋梁耐震補強・修繕	北九州市						40		策定済	
A-36	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	修繕	(他)藤田38号線ほか1路線(黒崎跨線橋ほか1橋)	橋梁耐震補強・修繕	北九州市						120		策定済	
A-37	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	修繕	(他)千代12号線ほか4路線(石坂歩道橋ほか4橋)	橋梁耐震補強・修繕	北九州市						300		策定済	
A-38	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	修繕	(国)3号(葛葉一の橋)	橋梁耐震補強・修繕	北九州市						10		策定済	
A-39	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	修繕	(主)門司行橋線(谷川2号橋)	橋梁耐震補強・修繕	北九州市						10		策定済	
A-40	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	修繕	(主)小倉中間線(上音滝橋)	橋梁耐震補強・修繕	北九州市						20		策定済	
A-41	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	修繕	(主)小倉中間線(金水橋)	橋梁更新	北九州市						200		策定済	
A-42	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	修繕	(他)神田1号線ほか8路線(神田歩道1号橋ほか8橋)	橋梁耐震補強・修繕	北九州市						545		策定済	
A-43	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	修繕	(主)門司行橋線(桜上の橋)	橋梁耐震補強・修繕	北九州市						30		策定済	
											小計 (道路事業)	16,225		—					

C 効果促進事業															
C6 都市防災・公園事業効果促進事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
小計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考		

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
合計													0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考		

交付金の執行状況

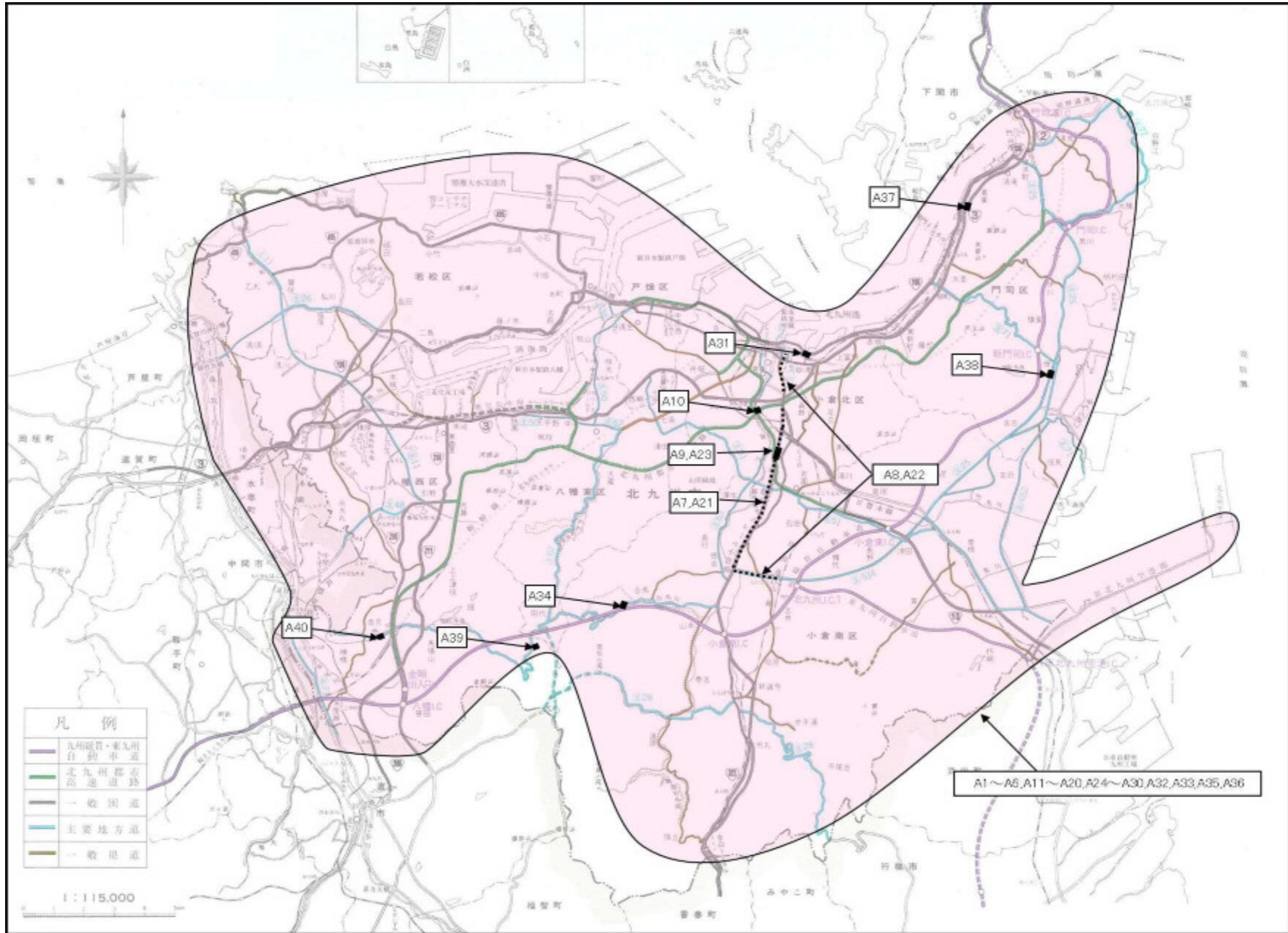
（単位：百万円）

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	1,256	1,024			
計画別流用 増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	1,256	1,024			
前年度からの繰越額 (d)		585			
支払済額 (e)	671	1,095			
翌年度繰越額 (f)	585	514			
うち未契約繰越額 (g)	72	170			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	5.7%	10.6%			
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由	-	用地交渉に不測 の日数を要した ため			

※ 平成28年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	6 防災に強いまちづくり		
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)	交付対象	北九州市



社会資本整備総合交付金チェックシート

計 画 の 名 称 : 防災に強いまちづくり

都道府県・市町村名: 北九州市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
1) 上位計画等との整合性	○
2) 地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の適合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
1) 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
2) 定量的指標の明瞭性	○
3) 目標と事業内容の整合性	○
4) 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
1) 円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
2) 地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○